

野 菜

【半促成栽培アスパラガスの管理】

1 温度管理

日中は25℃を目安に温度管理を行います。温度管理は当初は小トンネルの開閉から始め、さらに温度が高まる場合はハウス全体の換気を行います。なお、夜間の最低気温は5℃以上を確保するため、トンネルの裾から隙間風が入らないように注意しましょう。なお、翌日の外気温が0℃以下と予想される場合は、早めに(15時前)ハウスや小トンネルを閉め、小トンネルの上にさらにコモや保温マットなどの資材を被覆して保温に努めましょう。

ろうそくで保温し、凍霜害を免れ、高値出荷できた事例もあります。



写真1 ろうそくによる凍霜害対策

2 かん水

換気回数が増えるため、土が乾きやすくなります。地温低下防止のために、かん水は暖かい日の午前中に行い、乾いてきたと感じたら、1回当たり10～20mm位を目安に行いましょう。土壤の乾燥度合いの判断には、pFメータと呼ばれる器具が便利です。根が多く繁茂している地下約20～30cmの深さに測定部位(素焼きの部分)を設置し、pF値は2.3以下を目安に水分管理をしましょう。



写真2 pFメータ

3 施肥

この時期の萌芽は昨年の貯蔵養分が利用されますが、収穫中でもわずかに肥料を吸収するため、萌芽前～春どり収穫中に春肥(芽だし肥)を施用します。施肥量は年間施肥量の30%程度とし、緩効性の肥料を使用します。また、施肥後は必ずかん水して肥料を溶かすように心がけましょう。

【ジャガイモの管理】

1 種いもの準備

1aを植え付ける場合は、種いものは20kg程度は必要となり、種いも1個の重量は30～50gが適当です。種いもが60g以上の場合、芽数が多いため、頂芽を上にして縦切りして芽数を調整します。切り口に直射日光が当たるとコルク層の発達が遅れるため、日除けをして管理します。



写真3 催芽したジャガイモ

2 催芽(発芽を早める方法)

簡便な方法は、家の南側などの暖かくて土壌が乾いた場所にパイプハウス等の種いも置き場を作り、コンテナを2段並べ、その中に種いもを入れます。その上にビニールを被覆し、さらにその上には直射日光や高温を避けるために黒寒冷紗やよしずなどを掛けます。

温度は、昼間は5～20℃程度を目標（暑い場合はビニールのすそを上げて換気）、夜間は最低5℃を保つように管理します。なお、昼間の温度が25℃を超えると「黒色芯腐病」が発生する場合がありますため、温度管理には注意しましょう。種いもは1週間に1回程度、上下を入れ替えて芽の動きが均一になるようにするとともに、発芽不良や病気の心配があるものは取り除いていきます。概ね20～30日程度で芽が緑紫色に太くなり、芽の長さ5～10mm程度で金平糖状に出てきたら植え付けます。

3 植え付け時期

標高400mの善光寺平は3月下旬が植え時です。標高が100m上がるごとに5日ほど植え付け時期を遅らせます。平年の気温推移では標高500mで4月1日頃、標高600mで4月5日頃、標高800mで4月15日頃です。適期より遅く植えると生育期間が短くて収量が減るので、遅れないようにしましょう。

4 施肥

1a当たり、堆肥100～200kgのほか、肥料は成分で、窒素1.3～1.8kg、リン酸1.3～1.6kg、カリ1.3～1.8kgで、基肥は堆肥とリン酸の全量、窒素とカリは、3/4～2/3とします。ジャガイモの土壌の最適pHは5.5～6.0です。土壌のpHが高くなると「そうか病」が多くなるので注意してください。

【タマネギの追肥】

遅くとも平坦部では3月末まで、寒冷地では4月中旬までに、1a当たり窒素成分で1～1.5kg、カリ成分1kg程度を標準とし、2月中旬頃から2～3回に分けて追肥しましょう。施用時期の遅れは生育後半まで肥料の残効による貯蔵性の悪化、腐れや病害虫の原因となります。草勢を見ながら施肥量は加減しましょう。糸状菌の病害である灰色腐敗病は、1～3月頃に降水量が多い場合に多発する傾向があります。葉にはほとんど病原性を示さず、首部から球内部に侵入するため、薬剤散布は首部にしっかりかかるように散布しましょう。

【葉菜類苗の順化】

順化（じゅんか）とは、環境にならすということで、育苗ハウス内の日中の気温を外気温に合わせて徐々に下げていく作業です。定植7日前程度になったら始めます。（表1参照）春先でもハウス内温度30℃を超える場合もあるので、換気をこまめに行い、生育適温を維持し、定植後の植え傷みや生育遅延をまねかないようにします。なお、苗の馴化期でも最低限界温度4～5℃以上を必ず確保してください。特に、アブラナ科の野菜は10℃以下の低温に長時間遭わせると、花芽ができて、とう立ち（抽苔）するので注意してください。

表1 主な葉菜類の苗順化期の温度の目安（℃）

品目名	馴化期の日中温度		夜間(最低)温度
	馴化開始時	馴化後期	
レタス	15～22	8～18	5
ハクサイ	18～21	12～18	10～15
キャベツ	15～20	12～18	10
カリフラワー	20前後	15～20	10～18
ブロッコリー	18～22	15～18	12～15
チンゲンサイ	15～20	10～18	10～15